

銀杏

発行所

〒792-0835
新居浜市山根町8番1号
曹洞宗瑞應寺専門僧堂

編集発行 瑞應寺

電話(0897)41-6563

FAX(0897)40-3127

https://zuioji.jp

毎月1日発行

(振替 01330-2-31918)
瑞應寺

印刷所 東田印刷株式会社

碧巖録物語独語【三十五】

後堂 門 原 信 典

第十九則「俱胝一指頭」寐語 ⑩

〔莫妄想六〕天地一指

〔評唱〕

俱胝和尚は「天龍和尚の一指頭」の教えをいただき、いつ誰に佛道に関わる事を問われても、答えは只一本の指を見せるだけでした。やがて「俱胝の一指頭」と云われるのですが、では天龍和尚は「一指頭」をどう受け継がれたのでしょうか。禅学大辞典には「門下に対して常に一指を竖て、金華山の俱胝を打出した人」とあり、天龍和尚も、いつも「一指頭」で接化し、そして俱胝和尚を見出し後継者とされたのですが、詳しいことはわかりませんでした。

師匠の大梅法常禪師は八十八歳で遷化されます。その直前、弟子たちに言いました。「来るに拒むべきなく、往くに追うべきなし」

（生死去来も一つ、出入り無し）そしてムササビが「グルルルル」と鳴き「この物は他物にあらず。汝ら諸人、よくこれを護持せよ」（ムササビの声が聞こえたか、これこそ私の声だ、私の証だ。忘れるな）そう言い終わると亡くなられました。

道元禪師の傘松道詠の詠法華經にも「溪の響き嶺に鳴く猿たえだえにただこの経をとくとこそきけ」（溪谷を流れる水の響も、嶺に鳴く猿の声も、み佛様の声と姿であり、法華經を説かれているのだ）と示しています。

そして、天龍和尚はある言葉に出会ったのではないかと云われています。

それは莊子（紀元前三六九年頃・紀元前二八六年頃・人名の場合）はソウシ、書名の場合はソウジと

読みます）の『齊物論第二』の中にある「天地一指、萬物一馬」と云う言葉です。哲学的な意味は全く分からないので、どなたかに教えるを請いたいところですが、ご紹介します。

『以指喻指之非指、不若以非指喻指之非指也。以馬喻馬之非馬、不若以非馬喻馬之非馬也。天地一指也。萬物一馬也』

（指を以て指の指に非ざるを喻すは、指に非ざるものを以て指の指に非ざるを喻すには若かざるなり。馬を以て馬の馬に非ざるを喻すは、馬に非ざるものを以て馬の馬に非ざるを喻すには若かざるなり。天地も一指なり。万物も一馬なり）

「この指を見て、その指が真の指ではないことを証明するのは、この指ではないものによつてそのことを確かめる事には及ばない。

この馬を見て、その馬が真の馬ではないことを証明するのは、この馬ではないものによつてそのことを確かめる事には及ばない。天地も一本の指であり、万物も一頭の馬である」誰かが一頭の馬を指さしたのでしょうか？

これを「私」と「み佛様（真の私）」として読んでみます。

「この私が、私ではなくみ佛様であるという証は、私の自我を放

下して、この私が坐禪、佛行を実践する事です。実践無くして、私のみ佛様である事の証明は出来ません。坐禪こそ「天地も私」「万物も私」の確かな証なのです」

もう何年も前、郵便局での出来事です。私の叔父が何かの手続きをしようとしたら、職員さんから「本人確認をさせて下さい」と言われ、笑いながら「ワシだがない」と即答されたそうです。

現在「自分」を証明するには免許証、或いはマイナンバーカード等が必要です。水戸黄門様も印籠が無ければただの人です。今も昔も自分以外の物が自分を証明するのです。これは社会の仕組みとして何事に於いても必要な事です。

しかし、禪ではこの「私の正体」「私の証明」が大きな問題になるのです。

この『齊物論』には、この世界は一本の指にすぎず、あらゆる存在は一頭の馬と同じであると表現しています。『齊物論』は読んで字の如く「一切の物は悉く齊しい論」の意味で莊子の哲学の根幹だそうです。この宇宙の全ての生命に違いは無く、みんな「宇宙いっぱい、天地いっぱい」の平等なる生命なのです。

「一切衆生悉有佛性」（一切の衆生は悉有の佛性）と云いますが、

今この世界に悉く存在（有）している生命だけでは無く、宇宙を含めて、この世界が誕生して以来、生きるべくして生きて来た生命も、これからの生命も、全てがみ佛様として尊い「即心是佛」です。

天龍和尚は大梅法常禪師の「即心是佛」の修行を身心で感得し、この莊子の言葉に出会い「一指頭の禪」を示されたのでしょうか。

「天地我同根、万物我一体」（天地と我と同根、万物と我と一体）。これは肇法師（三七四年？～四一四年）と云う人の言葉ですが、これも『齊物論』に「天地我と並び生ず。而して万物と我とを」と為す」とあります。一個の存在である自分と、この広い大宇宙の根源は同じであり、この世界の中のあるゆる存在と自分は一つであると云う事です。つまり「私」の坐禪・佛行が、「大宇宙の坐禪、あらゆる存在の佛行」になるのです。それが「私の正体」「私の証明」です。

そして坐禪の間に行われる住立（しゅうたつ）思惟（しゆい）（立つたままで呼吸を調える）や経行（けいぎょう）（一息半歩で歩む）の深い呼吸（そくそく）と云いますが、これも莊子の「大宗師篇」に「真人の息は踵（かかと）を以つてし、衆人の息は喉（のど）を以つてす」とあります。達磨大師が伝えた禪は哲学を佛道修行に導いたのです。（続く）

面山瑞方禪師の禁煙SDGs

タバコの様々な害悪を知り尽くしていた碩学の祖師

東京巣鴨とげぬき地蔵尊高岩寺住職 医師 医学博士
東北福祉大学客員教授 日本禁煙学会役員
高岩寺 来馬明規

【はじめに】

前回に引き続き「持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)」の話題です。今回は江戸時代の宗門における「最大の学僧」面山禪師の禁煙語録とSDGsとの関係を取りあげます。

【禁煙はSDGsの重要項目】

SDGsは2015年に国連総会で採択され、2030年までに各国が達成すべき、17の目標です(左図)。タバコ規制推進は、目標3「健康的な生活と福祉の促進」の3.a「タバコ規制枠組条約(WHO FCTC)の実施強化」として位置づけられています。

タバコの害は健康問題に限定されがちですが、江戸時代に編纂された面山禪師の禁煙語録では、タバコの様々な害悪を系統的、包括的に論じていることに驚かされます。喫煙が破戒行為(宗教的犯罪)であるのみならず、SDGsの各目標に相当する社会的課題——飢餓や農地利用、経済的損失、労働生産性にも影響していることを、明解に示しているのです。

【面山瑞方禪師】

面山瑞方禪師(1683~1769)

江戸時代に曹洞宗学を大成させた、宗門を代表する祖師です。今回は『面山廣録』(1777年刊行)の「禁煙草(えんそうをさんず)」から、SDGsに関連する部分を解説します。(1)(2)次段の「読み下し文」は読み飛ばしても構いません。

● 現代語訳 ●

① タバコは経済米を浪費している。痩せた土地は葉タバコ栽培に不向きで、肥沃な土が必要である。古い田で作られた葉は嫌われ、新田を用いた高品質な葉タバコが好まれる。これがタバコによる不経済の第一である。

↓目標2 食料調達阻害・12 持続可能な製品・15 農地の無駄な使用

② タバコを吸う者は、土農工商のいずれも仕事に身が入らなくなる。これがタバコによる不経済の第二である(依存性薬物のニコチンに溺れて働かない)。

↓目標8 労働生産性低下

③ タバコを吸っても飢え渴くだけで全く役にたたないばかりか、時間を無駄にしている。タバコによる不経済の第三である(飢饉・貧困の解決を阻害)。

↓目標1 貧困・2 飢饉・4 教育

④ また、キセル、タバコ盆(3)、タバコ入れに手の込んだ装飾を施す者がいる。金品の無駄であり、これがタバコによる不経済の第四である(教育・健康・福祉などに使われるべき資金を無駄にしている)。

↓目標2 飢饉・3 健康福祉・4 教育

⑤ また、タバコを吸って衣服を焼き、座席を焦かし、果てには火事を起こす者がいる。これがタバコによる不経済の第五である。

↓目標11 火災原因街づくり妨害

⑥ もし葉タバコ栽培をやめて、五穀を植えれば、我が国の経済に大きく貢献し、何百年も飢饉に苦しむことはないだろう。だから、タバコが普及する前には飢饉がなかったのである。農民も五穀に困らなかつたが、葉タバコ栽培が始まった永祿年間(1558~1570)以来、飢饉が多く発生している。歴史書を読めば明らかである。

面山禪師はタバコの生産消費がSDGs 17項目のうち、8項目の悪影響を指摘しています。

【読み下し文】

① それ煙草が米を賣やすと謂ふ所以は、この草を種植するに、専ら瘠土を嫌う。故に以てたた沃田を揀び、これを栽う。また、旧田を怠い、故に新田を求め、これを種う。以て、上品と為す。米を賣やす所以の一なり。

② 且くこれを吸うは、四民共に自家業を

懈り焉に縋む米を賣やす所以の二なり。
③ これを吸うといえども、また、飢渴して益なし。ただ益無きのみならず、虚しく光陰を度る。米を賣やす所以の三なり。
④ あるいは煙筒を飾り、煙盤を塗り、煙囊を綴続し、徒に財宝を棄つ。米を賣やす所以の四なり。

⑤ あるいは衣を焼き、席を焦かし、あるいは災いを招くに至る者、またここに在り。米を賣やす所以の五なり。
⑥ もし今の沃田を耕し、却て以て五穀を種えしめれば、すなわち合国の四民なり。幾百年を経てまた飢渴に苦しむことなし。この故に、煙草未だ皇土に入らざる先に、すなわち國に饑饉なし。なお佃戸五穀に飽くこととなり。永祿以来天下時に饑饉多し。史伝に記す所は驗なり。

『永福面山瑞方和尚廣録』
巻第五「禁煙草」

【現代のタバコ問題】

面山禪師の時代から約四百年が経過し、今やタバコ製品の製造・販売・消費は、目標3の健康福祉の課題にとどまらず、SDGs全17目標に深刻な悪影響を及ぼしています。左の図を参照しながら整理してみましょう。(4)

まずタバコ産業は、葉タバコを生産する国や消費する国において、1 貧困、2 飢餓、4 教育を悪化させています。葉タバコ生産は6 水資源や7 エネルギーを浪費し、8 労働搾取や16 小児

労働を伴い、転作の機会を奪うことで8・9 地域の成長・発展を妨げ、10 国家間の不平等を助長しています。また、5 ジェンダー不平等は、WHOの報告から、女性の受動喫煙被害は男性の2倍に及ぶとされています。さらにタバコの消費は、11 街づくりを阻害しています。吸い殻によるゴミ問題やタバコ火災、環境汚染は都市の持続可能性に逆行します。葉タバコ乾燥用燃料を調達するための森林伐採や、化学肥料・農薬による水・土壌汚染は、13 14 15 自然環境にも大きな負荷を及ぼします。特に紙巻タバコのフィルター由来するマイクロプラスチックの海洋汚染は、深刻な問題です。12 タバコ製品は持続不可能で、人類史上最悪の工業製品なのです。

「タバコ産業の「なんちゃって」SDGs」
タバコ製品は年間700万人を超える人々の命を奪い、地球規模の環境破壊と汚染を引き起こし、全人類の命を脅かす存在と認識されています。(4)にもかかわらず、我が国の政府・国会は機能不全が続く、国連WHOが推進する「タバコ規制枠組条約(FCTC)」の履行をサポートしていません。

SDGsに基づくタバコ規制推進の必要性は、ほとんど周知されず、タバコ産業の「やりたい放題」が続いています。恐ろしいことに、SDGsと利益相反の立場にあるタバコ産業が、「SDGs推進」を標榜し、社会貢献を擬装して

いるのを。

これはグリーンウォッシュと呼ばれる反社会勢力の犯罪隠ぺい行為、例えば「資金洗浄・マネーロンダリング」に等しい手法と解釈されています。(4)

こうした問題に対処するために、各国はタバコ規制を強化し、17 国際協調をさらに推進するよう求められています。具体的には、課税強化や密輸防止、葉タバコ農家の転業支援を含む包括的な政策が、すべての国々で実践されるべきなのです。

【まとめ】

タバコ問題について、江戸時代の禅僧・面山禅師が膨大な情報を蒐集し、詳細に分析していたことを紹介しました。その慧眼には、唯々驚嘆するほかはありません。

【附記】

(1) 『祖師に学ぶ禁煙の教え』第2版 筆者・千葉公慈共著 佛教タイムス 2011年(同年曹洞宗特別奨励賞)
(2) 面山瑞方の禁煙パロディ『永福結夏語録 憎煙酒歌』の出版 曹洞宗総研究学術紀要 2013年 P.3805-3809.

(3) 筆者本誌掲載記事

『タバコ盆はおしまいくださ』(920号)

『吸い込め詐欺との戦い』(922号)

『タバコが壊す人権平和環境』(923号 (2025年3~6月))

(4) 『SDGs ポケットブック』

日本禁煙学会編(筆者主筆)2022年



目標 3：すべての人に健康と福祉を

目標 3.a：すべての国々においてタバコの規制に関する世界保健機関枠組条約 (WHO FCTC) の実施を適宜強化する

タバコ病 受動喫煙被害 早死 超過死亡 ⇨ 面山禅師④
医療費の増大と非効率化 子どものタバコ誤飲
子どもの強制労働と緑タバコ病 (職業性ニコチン中毒)



貧困の根絶 - タバコは貧困と低教育の根源 -
衣料・食費・住宅費・教育費・医療費がタバコ代に費やされる 貧困 ⇨ 低教育 ⇨ 喫煙 ⇨ 貧困の連鎖
⇨ 面山禅師③



飢餓をゼロに
食費がタバコ製品に 葉タバコ生産 ⇨ 食糧生産減少
脱森林化 ⇨ 洪水 ⇨ 表土流出 ⇨ 耕地面積減少
⇨ 飢餓 ⇨ 森林伐採現金化 ⇨ 面山禅師①③④



質の高い教育を - タバコ製品消費を教育費に -
受動喫煙による学習能力低下
葉タバコ農園の小児労働・学習機会剥奪
⇨ 面山禅師③④



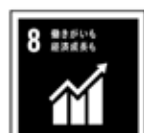
ジェンダー平等の実現
喫煙率の性差が不平等を反映
受動喫煙被害 女性 >> 男性
妊娠・周産期における母児の受動喫煙被害



安全で清潔な水 - 持続可能な利用 -
葉タバコ栽培に用いる農業・化学肥料による
土壌と飲料水の汚染 脱森林化による保水低下
河川堆積物増加 干ばつ 洪水の反復



エネルギー - 安価・持続可能・すべての人に -
依存性薬物の製造に貴重なエネルギーを浪費
葉タバコの乾燥に木材使用 ⇨ 脱森林化加速



経済成長と働きがい - 喫煙労働者のタバコ病 -
早死と労働人口減少 労働生産性の低下 災害
職場の受動喫煙被害 葉タバコ農園の労働搾取
小児労働 職業性ニコチン中毒 ⇨ 面山禅師②



産業化推進 - 包摂的で持続可能 -
タバコ製品の原料生産国は中低所得国
タバコ産業・葉タバコ農園主による経済的な
植民地支配・労働搾取とインフラ構築の遅延



不平等の是正 - タバコは格差の根源 -
喫煙者の健康被害・経済的損失・低教育が
喫煙者・健康者間の不平等を増強
低~中所得国で喫煙率が高い



街づくり - 持続可能な都市 -
職場・家庭・公共空間の受動喫煙被害
喫煙施設が貴重な公共スペースを専有
吸い殻のゴミ問題・火災 ⇨ 面山禅師⑤



持続可能な工業製品
タバコ製品は持続不可能な工業製品
環境破壊・人権侵害・廃棄物・吸い殻
⇨ 面山禅師①



気候変動対策
葉タバコ栽培 ⇨ 脱森林化
タバコ製品の製造消費 ⇨ 温室効果ガス
タバコは気候変動を加速



海洋・海洋資源の保全
ポイ捨ては海を汚染する ⇨
タバコのフィルターは最悪の
マイクロプラスチック発生源



陸の環境生態系 - 保護と持続可能な利用 -
葉タバコ耕作による脱森林化・洪水発生
表土流出・農業・化学肥料による土壌汚染
土壌と生物多様性の悪化 ⇨ 面山禅師①



平和で公正な社会
虚偽の広報 タバコ産業が主導する密輸
葉タバコ農園での子どもの労働搾取虐待
小児労働・労働搾取・緑タバコ病の放置



SDGs 推進の国際的な協調
各国のタバコ課税強化と規制推進
各国・各組織間の協調を維持・強化する



師 真道隆邦 瑞應寺修行の思ひ出話より

文責 山口県下松市 妙光寺住職

山 縣 洋 典

先ずは、この寄稿文を掲載し
てくださった金岡老師と諸関係
者各位に対し、心からお礼を申
し上げます。何故この様な事に
至ったのかと言え、現在（令和
七年九月）病床にある齢九十一を
超えた拙の実父でもある師隆邦
に因ります。

師は昭和二十九年から約二年
間、瑞應寺様にて修行をさせて
いただきました。その後自己の
人生においてその修行が糧とな
り、今日までの充実した僧侶人
生を全う出来たと繰り返し今も
誇らしく語っています。

何故なら当時は、橋本恵光老
師の元に、檜崎一光老師、本田
祖芳老師や宮田玄洞老師を始め、
その後も長い間師と仏縁を紡ぐ
檜崎通元老師などが在山されて
おられ、そうした綺羅星のごと
く輝く方々と共に、貴重な修行
時間を過ごせたからなのでしょう。

以前から本人が徒然に宣う修
行時代の話を記録しておりまし
たが、本人から魂の寄る辺なき

現在社会だからこそ、当時の朴
訥とした話に目を通していただ
き、それぞれの瑞應寺様との正
に尊く、有り難きご縁を感じて
いただいたら幸甚との事です。

本人曰く大の勉強嫌いの師は、
終戦後に山口県の高専学校を卒
業し、即修行道場として瑞應寺
専門僧堂を志願しました。当人
からは地元に近い場所として選
択し、特に深い理由はなく裏返
せば何も考えずに山門に立った
ようです。

高校時代は野球部で、ある程
度は理不尽な振る舞いも慣れて
いたようですが、入山当初は流
石に辛かったと聞きました。特
に最初の直接指導は一光老師か
ら受け、偶に二人だけで行う朝
課が毎回嫌で仕方なかったとの
事です。

中でも夏の制中に唱える楞嚴
呪（古いインドの言葉で書かれた
お経）の際は、当然一光老師が一
人が堂内を隅々まで遡行される

ため、堂副維（木魚と鐘を鳴らす
などの役）をしていた当人から遠
くなると読経が聞こえず、どこ
を唱えられているのか全く分か
らない為、途中の鑿子等が打て
なくなり、いつも終わつた後に
叱責を受けるからです。

ある時、とうとう我慢出来な
くなり、横を向いてふて腐れて
いたら、当然の事ながら更に強
く注意を受け、その時思わず「良
く話を聞くために耳を前に向け
てます。」と言いつ返し、その後の
惨状は推して知るべしとなり、
他の修行僧にも飛び火して大変
だったそうです。

然しながら不思議なもので、
それを機に急速に一光老師と親
しくなり、後に老師の口添えで、
全く考えてなかった駒澤大学へ
の進学まで至つたと聞きました。

数十年を経て、あるご寺院の
行持で一光老師と師が会いこの
話題となった際、何故老師が大



師 真道 隆邦

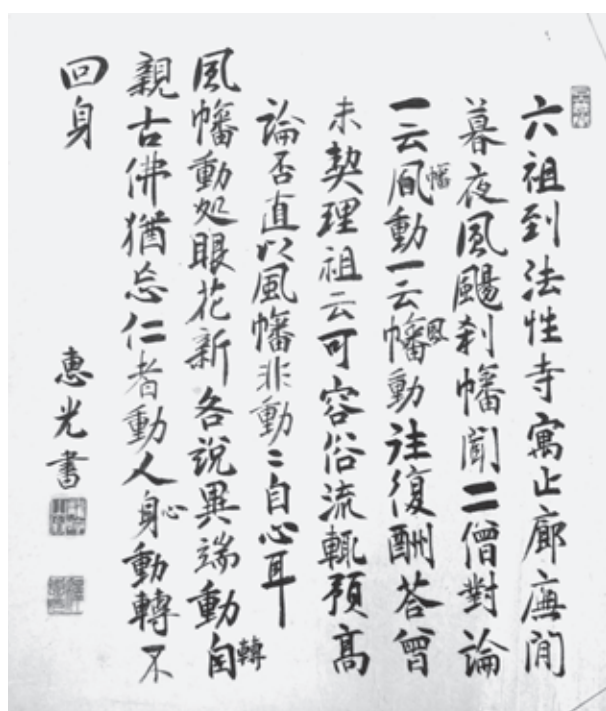
学進学を勧めたのか聞いた際、
「修行は僧堂内のみではない。行
と学が車の両輪の如く回ってこ
そ成せる。若い隆邦さんにはそ
のバランスをとって欲しかった。」と諭されて、その時初めて
修行とは何か？と改めて意味を
考え直したそうです。

師は、こうした言わば無知且
つ未熟ゆえの失態はまだまだ幾
つもあり、その一つ一つを思い
起こすと、その後の自己の仏道
精進の根幹を成していると述べて
います。そう考えると僧堂修
行の第一歩は、何かを出来るよ
うになるのではなく、身をもつ
て出来ない事を痛感し、我見や

我執に気付かされる事ではない
でしょうか。つまりそうした言
わば、見たくない自分を真正面
から見つめてこそ、己の行と学
の不足が醸し出されてくると思
われます。

拙は、師の思ひ出話を聞きた
びに、後の曹洞宗を背負う方々
が在籍されておられた瑞應寺専
門僧堂は、「行学一如」を会得す
るに最も相応しい修行道場であ
ると思わずにはいられません。
これからも、変わらぬ門風に
て修行者を迎えられることを祈
念致します。ありがとうござい
ました。

洋典九拜



詩 偈



賀聖也新長老法戰式

出家参学養心田

率衆修來佛國禪

法戰場中親問話

拈華微笑最良縁

堂長 村上徳存

暑中盆経

驕陽赫赫汗珠頻

謝訪檀家樵穢身

葛服老婆停電視

後援助行扇頭振

監事 阿部信宏

山寺即事

群雨一過天蓋青

夏椿幾片白花零

鳥声睨睨無人影

獨占叢林新緑馨

飯島慈皓

雨安居所懷

連日霏々梅熟霖

簷軒燕噪競鈴音

僧園大衆一如和

昼夜精勤勵道心

郡司泰晴

夏日偶成

驕陽照下掃埃塵

流汗如瀧眉目顰

野草繁蕪何甚速

自憐行道叵前身

前田聖也

夏制中偶感

遠隔塵縁入梵林

忙中忘季已梅霖

時思邑里知音事

如拂頭燃徹底今

村上義峰

テレホン法話 (〇八九七四一・〇〇三三)

禪のたより



◆アンパンマンの愛語

今春のNHKの連続テレビ小説は、アンパンマンの生みの親である「やなせたかしさん」のお話を基にテレビドラマ化されました。私が住職をしているお寺の近くにはアンパンマンミュージアムがあり、いつもその前を通ります。ですから、「やなせさん」の人生がテーマになったことを大変喜ばしく思っております。

ご覧になられた方も多く、テレビを見てなくても小さなお子さんが居るお家の皆さんもアンパンマンはご存じでしょう。

私が一番印象に残っているのは、アンパンマンがお腹を空かした人に自分の顔であるパンを差し出す場面です。

それは、「やなせさん」が生前お話になられた「人生は、よろこばせごっこ」という事だと思いました。

「人に喜んでもらえる事は、私

の最大の生きる喜びであり、幸福の源である」と云う「心」が、

この場面からとても伝わってきます。「自分だけの幸せ」は本当の幸せではありません。自分も他人も共に幸せを感じる事が、本当の優しさです。これは、み

仏様の教えそのものです。曹洞宗でお読みする修証義というお経があります。その中に「愛語」という教えが出てまいります。

さらに道元禅師は「愛語は愛心よりおこる、愛心は慈心(しじん)を種子(しゅうじ)とせり」とお示しです。「しゅうじ」とは「種子」つまり「タネ」の事です。相手を思いやる心を「愛心」と云います。「愛心」は日常生活の中で対人関係を円滑に進める

為にも、そして、現代社会においては、様々な悩みや苦しみを解決する為にも大切な「心」です。道元禅師は「愛心」から生まれてくる「愛語」は相手の顔を喜ばせ、心を楽しくするとあります。そ

して、その「愛心」は、どんな人でも分け隔てなく慈しむ「慈心」

を種にしています。自分が「慈心」という「幸せな心」を持つていないと「愛心」にも「愛語」にもなりません。アンパンマンの「愛語」には、この「愛心・慈心」が宿っています。「おはよう・ありがとう」も「愛語」です。

今日、今からお互いに「慈心」の種まきをしましょう。

そして自分にも周囲の人にも「愛心」を育て「愛語」の花が咲くよう願ひましょう。

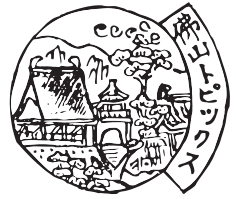
瑞應寺専門僧堂副典 楠本 剛大
令和七年十月一日・十日



HPを開設しました
会報を毎月掲載しています



<https://zuiioji.jp>



■西祖忌

九月二十九日(月)、高祖道元
 禅師、太祖瑩山禅師の御征忌
 にあたる。前晚に特為献湯を
 厳修。当日に献粥飜經、正當
 献供飜經を如常に修行された。

■住友供養

十月五日(日) 毎年恒例の住友
 供養として、別子銅山殉職者
 並びに、新居浜住友連係会社
 殉職者の追悼法要が開催され
 た。金岡山主、眞光寺様、慶正
 寺様の三導師、合山清衆随喜
 にて施食供養、系列十一社代
 表による焼香、回向中の読立
 供養にて殉職者諸精霊の大法
 要が厳修された



住友供養

十月の日鑑

一日	祝禱 中国人殉難者慰霊祭
五日	日曜参禅会 住友供養
十日	僧堂祝祭
十二日	日曜参禅会
十五日	祝禱・略布薩
十八日	観音講(仏教勉強会)
十九日	日曜参禅会
廿一日	長野県第一宗務所 第六教区参拝
廿四日	山形県第三宗務所 第十教区参拝
廿六日	日曜参禅会
廿一日	略布薩
十一月の予定	
二日	日曜参禅会
四日	参玄会(六日迄)
五日	達磨忌速夜
九日	日曜参禅会
十四日	配役行茶・入寺式 土地堂念誦 庫司点湯
十五日	小参・人事行礼 略布薩
十六日	日曜参禅会
十八日	現職研修(十九日迄)
廿三日	日曜参禅会
廿四日	金毘羅秋大祭
卅日	日曜参禅会 略布薩

銀杏感謝録

岩手県	長福寺 殿
北海道	瑞英寺 殿
愛媛県	野間寺 殿
京都府	鳥越万寿子 殿
愛媛県	土岐 敏勝 殿
新潟県	普濟寺 殿
島根県	岩瀧寺 殿
長崎県	宝泉寺 殿
大分県	長松寺 殿
愛媛県	向雲寺 殿
愛媛県	梶原恵都子 殿
岡山県	成興寺 殿
広島県	広福寺 殿
愛媛県	福田小百合 殿
高知県	龍宝寺 殿
愛媛県	宮崎 芳久 殿
愛知県	常清寺 殿
北海道	大玄寺 殿
島根県	浄心寺 殿
島根県	養善寺 殿
広島県	運西寺 殿
静岡県	旭傳寺 殿
長野県	無量寺 殿
徳島県	城満寺 殿
広島県	岳音寺 殿
東京都	仙翁寺 殿

(令和七年十月二十二日受付迄)

令和七年十一月二十四日(月)旧十月五日

前夜(十一月二日)十九時上殿祈禱
 十一時・十四時上殿祈禱(福引)

金毘羅大祭

・福餅
 ・キッチンカー(酸欠三津焼ウーレージ・クレープ等)
 ※福餅・キッチンカーは当日九時頃より

佛岡山 瑞應寺



鐘声

例年の如く地面一杯の銀杏の
 実、山内はその香りに満ち満ちて
 いる。

二十年ほど前と比べて随分と枝
 が広がり垂れ下がっているが、そ
 の分実の大きさが小降りになった
 ように感じる。その所為か今夏は
 大雨の重さに耐えきれず大きな枝
 が折れ落ちた。時を同じくしての
 今治市より樹木医を請うての樹木
 点検では、折れた枝は樹木医も注
 目していた箇所。

樹齢八百年の大銀杏樹は昭和
 三十一年に愛媛県の天然記念物に
 指定、現在新居浜市と相談しつつ
 対応を検討中で、樹木医の診断に
 よると幾分か剪定に加え宿木の
 伐採も必要との事。

普段何気なく見ていた銀杏樹だ
 が、樹木医の指示で仰ぎ見上げる
 と、確かに幹肌も枝葉も違う大き
 な宿木が確認できる。こちらは西
 洋で縁起物とされるヤドリギとは
 違い、全く別の樹木が銀杏樹の幹
 上から成長している様子が見られ
 ます。兎にも角にも一定の保守保
 全を予定しています。

自然樹木の生育にも環境や管理
 は不可欠、改めて自身の生活環境
 や体調管理を見直す機縁となりま
 した。申すまでもなく僧堂生活は
 その最善、後は一任清風送白雲。

(道)